

2017年度 口述試験について(コミュニケーション専攻)

- ◎ 口述試験は、主査、副査、ゼミ生をはじめコミュニケーション専攻の学生が出席した場での発表形式で行われます。
- ◎ 一人の持ち時間は約18分とし、発表時間に続いて、質疑応答があります。
(発表+質疑の時間の合計が18分です。グループはグループ卒論を参照。詳細は担当教員の指示に従ってください)
- ◎ 質疑内容は、発表中の論点から論文の書式にかかわること等まで様々です。主査/副査の先生によって異なります。
- ◎発表者は時間を厳守してください。その際各自で自分の論文を発表用にまとめたレジュメ (A3=1枚またはA4=2枚程度) を30部程度用意して下さい。(ゼミによって部数は異なります。3年ゼミ生含め概算の出席者分を印刷して下さい。)
- ◎ 発表でのプロジェクタ/コンピュータ等の使用については卒論指導の先生の指示に従って下さい。
- ◎ 自分の発表だけでなく、所属するゼミの口述試験すべてに出席しなくてはなりません。
- ◎ 発表日時の表記については、“5-1”は5時限の最初の発表、“4-3”ならば4時限の3番目の発表を示します。
- ◎グループ卒論の口述試験はグループ単位で行いますが、ゼミ教員の指示に従い、発表、資料作成、質疑応答など役割分担をし、必ず全員が発表する時間を持ちます。時間は人数にもよりますが、1グループ25～35分を目安にして下さい。

<1～3年生の皆さんへ>

- * 3年生は自分の所属ゼミの先生が主査を行う口述試験すべてに出席しなくてはなりません。
- * 岩田ゼミの3年生は、岩田ゼミ、またはいずれか興味のあるゼミの口述試験に2コマ以上必ず出席してください。
- * 1年生から3年生は、指定された以外でも自分の興味に従いなるべく色々な先生のゼミの口述試験に出席してください。
- * 発表者の迷惑になるような途中退出、入室はなるべく避け、時間を守ってください。
- * 口述試験の期間中に就職試験、その他就職に関わる資格試験などが重なった場合には担当教員と相談して指示に従ってください。

コミュニケーションオフィス d-comm-sec@ml.twcu.ac.jp

なお、C専攻のホームページからも口述試験の日程を確認できます(pdfファイル)。
適宜ご利用下さい。